

岩手教区報

第357号
 立教185年9月1日
 天理教岩手教務支庁
 盛岡市馬場町3-40
 TEL 019-622-7962
 FAX 019-623-9597



教祖、先人の道と今 主事・県南支部長 千葉道雄



「二代真柱様と親心」

筆者が天理大学の宗教学科で学ばせて頂いた頃、中山正善・二代真柱様のご健在で、真柱様は宗教学科の学生に取り分け期待をかけられたと思われる。他大学の有名教授を天理に招かれ、夏休みの一期間を利用しての、集中講義があった。

例えば、東京大学の宗教学者、岸本英夫先生や東北大学の宗教学者、石津照璽先生ほか多くの名だたる教授の得がたい講義を聞かせて頂く機会に恵まれた。外来教授方も宗教学者としての二代真柱様、学者としての深い見識と人間的魅力にあふれる二代真柱様に惹かれて、お会いするのを楽しみにおちばに帰られた。その機会に二代真柱様は、「うちの子供達（宗教学科の学生）にも教えてやって下さい。」と親心をかけられたのである。

今もって記憶に鮮明な教授は、岸本先生である。岸本先生は東京大学を卒業後、

ハーバード大学に留学され、以後、東京大学の教授となる。スタンフォード大学客員教授として渡米されたが皮膚ガンを患い、10年間、病を抱えながら海外の大学にて講義を続けられ、宗教学の体系化を試みるという重要な貢献を残した。

『宗教現象の諸相』『人間と宗教』『宗教学』『宗教神秘主義』の著作のほか、10年間の闘病生活を通して自らの生と死を追求した、名著『死を見つめる心』は、無宗教を貫いた先生の死後、大学葬の中で朗読された。私達が天理大学で岸本先生の講義を受講したのは、先生がアメリカで皮膚ガンの手術をされた後であり、人間の生と死に触れた話を聞かせて頂いた。岸本先生は時に、信仰を持つ事を考えたこともあったと思われるが、「宗教学とは、あくまで宗教を客観的視点で究明していく上から自分が信仰者となつてはこれまで自分が構築してきた宗教学が崩れることになる」として、あくまでも宗教学者としての立場を貫徹されたものと思われる。

二代真柱様は、たとえ無神論の人でも、思想的に立場を異にする人でも、抱き込んでしまう限りなき包容力をもって多くの人を育てられた。二代真柱様の警咳に接する喜びを知るお互いは、その感激に応えねばならない。

この9月は、3月に並び霊祭が執り行われる月である。「親神様の奇しきお手引きのまにまに、この道の人となられ」と祭文を奏上させて頂くが、立教以降、どれ程の先人が霊様として崇められていることだろう。私達が今こうして、日々結構にお連れ通りいただくのは、教祖のひながたは申すまでもなく、先人の筆舌に尽くし難い苦勞のおかげに他ならない。

教祖が最後に拘留されたのは、明治19年陰暦正月15日、御年89歳の時である。今でこそ、日本人の平均寿命は延びたが、御在世当時は44歳前後という。厳冬のさなか、ご高齢の教祖の御苦勞は想像に絶する。明け明けて明治20年陰暦正月26日、十二下りのおつとめが終わるや否や、教祖は現身をお隠しになられた。そして今もなお、ご存命で世界一れつたすけにお働き下さっている。

新型コロナウイルスの出現で足止めされたここ数年、教祖のひながたを僅かでも辿れたらどうか、先人の御望み下されている成人の道を、はたして通ることが出来るだろうかと思ふ。

本年6月、教養掛の御用の折、教祖が御年84歳の時、

かんろだいい切り出しの下見に足を運ばれたという、滝本山の石切場を訪れる機会があった。教祖もこの道を歩かれたのかと思つた時、ふとひながたの道が思い起こされ、胸に迫るものがあった。思い返せば、あまりの結構さに信仰の原点である元一日すら忘れかけ、世間の流れにまかせての生活が常態化しているのではないかと、反省の念しきりである。

今、ロシアのウクライナ侵攻により、尊い命が奪われ、平穏だった郷土、住居が無惨にも砲弾の的となつている。陽気ぐらしをするのを見て共に楽しみたいと、人間をお創り下された親神様の御心とは真逆の世界であり、誠に悲痛な思いである。人間の思量をはるかに超越する深い親心から発する御業であるのか、到底計り知ることはできないが、何かしらの思召があつての事と信じる他にない。

月日にわにんけんはじめかけたのわよふきゆさんがみたいゆへから (十四 25)

ご存命の教祖、先人の霊様方の思いに報いるためにも、穏やかな日々が一日も早く訪れることを祈り、自らのつとめに邁進したい。

道の学生ひのきしんDAY

日時 9月18日(日) 10時

場所 盛岡城跡公園

内容 ごみ拾い・親睦行事

お知らせ

○8月21日(日)に予定されていた花巻支部「みおしえ学習会」は、延期(日程未定)となりました。

「みおしえ学習会」開催予定(9月分)

奥州 23日(金) 岩谷堂分教会 10時

〔ファシリテーター 工藤 裕樹〕

行事予定 **【9月分】**

- 1日 役員会(10時)
- 10日 青年会例会(19時)
- 11日 学生担当委員会例会(19時30分)
- 16日 青年会ソフトボール大会(9時)
- 17日 教区剪定ひのきしん(10時)
- 18日 災害隊例会(18時)
- 18日 陽気フォーラム(10時)
- 28日 女子青年例会(10時)
- 30日 道の学生ひのきしんDAY(10時)
- 31日 全教一斉にをいがけデー(30日)
- 31日 婦人会例会(10時)
- 31日 少年会例会(12時)
- 31日 主事会(15時)

全教一斉にをいがけデー
【9月28日〜30日】
身近な人に御教えを伝えよう

同じ地域に住むようばく・信者が心をそろえ、お道ののをいを広めるために活動する日です。
教祖にお喜びいただけるよう、一手一つに勇んだ布教活動をさせてい
ただきましよう。



婦人会

「支部主任・副主任講習会」

開催さる

教区婦人会では、去る7月16日(土)、教務支庁において「支部主任・副主任講習会」を開催し、12人が受講した。

鈴木真喜主任の挨拶に続いて、ビデオ「教区婦人会に期待すること」(講話・加藤元一郎仙臺大教会長)を全員で視聴。加藤

氏は、「教区は学校と同じ役割がある。地域と繋がりを作る活動を」と話された。

その後、三つのグループに分かれて、教祖140年祭三年千日を迎える上の心構えをねりあった。



少年会

「少年ひのきしん隊本部練成会」報告

本部練成会」報告

「少年ひのきしん隊本部練成会」の参加者一行は、去る7月28日15時、マイクロバスにて教務支庁を出発。翌29日、大阪のユニバーサルスタジアムに立ち寄り、夕刻おちばに到着した。

本部練成会への参加は30日から、初日は班別の時間が設けられ、班旗と切り絵の作成をし、記念建物の見学やお楽し



み行事にも足を運んだ。
2日目は、おやしき内の除草ひのきしん、班別タイム、宿舍の清掃ひのきしんとあつという間のプログラムで、自身の濃い1泊2日の本部練成会であった。8月1日早朝、長旅の疲れも見せず、元気に岩手に戻った。
3年ぶりの開催となった今回の本部練成会は、少人数で隊員の学年も近かったことから、皆すぐ仲良くなり、「来年も必ず参加したい」という声も聞かせていただき、終始楽しい雰囲気の中、5日間過ごすことができた。なお参加者数は、隊員5人、カウンセラー2人、スタッフ4人の計11人。
コロナ禍のおちばがえり関係各所にご心配をおかけしましたが、保護者の皆様、諸先生方のご理解・ご協力のお陰と、厚く御礼申し上げます。



道の教職員の集い

第43回「夏の勉強会」開催さる

道の教職員の集いは、8月11日、12日の両日、教務支庁を会場に、第43回「夏の勉強会」を開催し、中学生3人、スタッフ11人が参加した。

コロナ感染拡大の中、検温や抗原検査キットの準備、黙食、宿泊無で、感染予防を徹底しての開催となり、学習サポートや昼食の準備に、大学生、女子青年のご協力をいただいた。

参加者は、夏休みの課題を中心に、不得意とする科目を学習し、おつとめ練習や講話、庁舎内ひのきしんと意欲的に取り組んだ。昨年になつての参加になつた3人は、休憩時間にも卓球やゲーム等をして、より親睦を深めていた。

参加対象は、小学生及び中学生とです。来年は、多くのご参加をお待ちしています。



「第15回陽気フォーラム」

【9月17日】

教祖140年祭に向けて、笑顔で免疫力を上げ、もっと元気に、もっと健康になつて、三年千日を頑張つて通らせて頂くとの思いで、左記の通り、「第15回陽気フォーラム」を開催します。

日時 9月17日(土) 10時〜11時
会場 教務支庁
講師 福々亭ナミ子氏(脳トレ漫談)
参加費 無料(定員50人)
※お申込みはFAX又は電話にて。詳細は募集チラシをご覧ください。



学生担当委員会

「学生層育成者講習会」

【10月1日】

教区学生担当委員会では、教区管内の教会長や各部各会の担当者、学生層育成の重要性を認識して頂き、その気運を高め、学生一人ひとりの育成に、一手一つに取り組んで参りたいと存じます。



青年会

「健康感謝ソフトボール大会」

【9月11日】

教区青年会では、恒例行事であった「健康感謝ソフトボール大会」を左記の通り、7年ぶりに開催します。感染対策を講じた上で開催しますので、多数ご参加下さいますようお願いいたします。

日時 9月11日(日) 9時〜12時
会場 盛岡市北上川公園
参加費 無料(昼食有り)
※参加申し込みは村松委員長迄。9月8日締切。参加人数によりポウリング大会に変更する場合があります。